



かたぐい



令和2年度
第31号

2020.10.30

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

貴重な体験が思い出に残る2日間でした。～6年修学旅行～



先週の22・23日の2日間、6年生が青森市・盛岡市方面への修学旅行を実施しました。見学地や宿泊先では、コロナウィルス感染防止のための配慮がなされ、子どもたちは活動に集中することができました。三内丸山遺跡では、縄文時代の暮らしを体感し、浅虫水族館で海の生き物の貴重な展示の学習、十和田湖では、絵画のような紅葉の景色を満喫することができました。最後の見学地、岩山パークランドでは、貸し切りに近い状態の中、友達と思う存分楽しんでいました。ホテルでは、青森の郷土料理を食べたり、津軽三味線の生演奏を聴いたりと貴重な体験をすることができました。2日間は、子どもたちにとって忘れることのできないものになりました。



～子どもたちへのインタビューから～「勉強になったことや心の残っていることは？」

K.M さん

一番心に残っているのは、三内丸山遺跡です。暗くて土の匂いをする竪穴式住居の中に入って見て、縄文時代の人たちの生活の様子が思い浮かんできました。ホテルの部屋では、カードゲームで盛り上がりました。消灯後は、疲れていたせいかみんな早く寝てしまいました。

S.Y さん

三内丸山遺跡では、縄文時代の建物を見て、その大きさに感動しました。ホテルでは、あきたこまちのようにモチモチしていたご飯がおいしかったです。ご飯は、青森の「青天の霹靂（へきれき）」でした。ぼくたちのために、わざわざ食べたことのないご飯を出してくれてうれしかったです。

Y.R さん

イルカショーが心に残っています。飼育員の人が鳴き声のような笛を使ってコミュニケーションをとりながら、見事なジャンプなどをさせていました。あと、行き帰り、様々な地域の車のナンバープレート探しをしました。40個見つけることができ、コロナ禍だけど、行き来が多いんだなと思いました。